

広報TSB

第12号

平成29年度 後期

TOHOKU SEIKATSU BUNKA
UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

時代の要請に 応えた改革

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

将来構想室長 三浦主博



本学における直近の将来構想に関してお話しさせていただきます。

先の広報TSB第十一号でもお知らせいたしました。本学では現在、新校舎（六号館）の建築工事が行われています。三月上旬には完成し、四月二日には竣工式が行われる予定です。三階建ての校舎はエレベーター完備。二階には、食堂、売店、パウダールームなどの学生用の厚生施設や作品等の展示ロビーなどが入り、新年度からは在学生にも、新入生にも喜んで利用してもらえらるものと考えております。また、二階以上には多くの講義室が入り、新しい環境での授業が行われることとなります。

本学はこれまでも学園創設から百十七年、大学設置から六十年、短大設置から六十七年という伝統を重んじながら、時代の要請に応えた高等教育を行うために、現在の学科、専攻の組織やカリキュラムの改革を進めてまいりました。今年度、将来構想室、将来構想検討委員会です。具体的な検討を行ってきたのは次の三点です。

一つ目として、来年（平成三十年）度から、

大学家政学科服飾文化専攻において、二つのコース制が導入されます。「服飾ビジネス」コースでは、服を作る、売る（営業戦略など）側の視点から、「服飾生活」コースでは、服を売る（店頭販売など）、着る、買う側の視点からの教育と研究を重点的に行っていきます。一、二年次で家政学や被服学の基礎を学び、三年次から専門のコースに分かれて、より専門性を深めた学びを行うこととなります。

二つ目として、現在の大学生活美術学科を改組昇格させ、「美術学部 美術表現学科」を設置することを構想し、平成三十一年度の開設を目指して検討、準備を進めています。「美術学部 美術表現学科」では、これまでの五十年にわたる生活美術学科の伝統を基にしながら、「美術・工芸・デザイン・メディア芸術」といった多様な美術の学びを行い、さらに美術の力で地域貢献できるようなカリキュラムを検討しています。なお「美術学部 美術表現学科」につきましては、現在設置構想中のため、今後名称等を含めて変更の可能性があることをご了承ください。

三点目は、全学共通の「学習支援センター」の設置です。先にご紹介した新棟の建設にあわせて、学生の自習スペースであるラーニングコモンズの設置を予定しています。また、学習支援センター専任のスタッフによる文章力の育成を中心とした学生の学習・学修支援を行う予定です。今後、本学の中・長期構想の策定をはじめ、教育の質の向上を目指して検討・改善を進めてまいります。関係各位の皆様にも今後より一層のご指導・ご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大学家政学科

短信



平成二十九年度下半期の家政学科の様子をお伝えします。

九月二、九日に、みやぎ県民大学「大学開放講座」を開催しました。健康栄養学専攻の五名の教員が二十代から八十代までの受講者を対象に食と健康に関する様々な講座を開講しました。

九月十二日から十五日にかけて服飾文化専攻二年生の研修旅行が実施されました。今回は東京方面で、(株)リアン本社、東レA.C.S(株)会社等八施設を見学し、レディースファッションの現状、アパレルCADシステムの企画・開発の見学や江戸染色の体験等で見聞を広めました。

十月八日には宮城県栄養士会主催の「いい日いい汗栄養まつり」に、今年も多数の健康栄養学専攻学生が参加し、食育ステージ「未来の管理栄養士による食育ショータイム」の出演を始め、各展示ブースのスタッフとして活躍しました。



▲ファッションショー

十月二十一・二十二日に開催された大学祭では、今年も健康栄養学専攻の学生たちが運営の主力となりました。恒例のファッションショーは、服飾文化専攻の学生たちが運営を担い、今

年は参加メンバーが少なかつたものの、チームワークと地道な作業、ユニークな発想で例年に劣らぬ立派な公演となりました。

十月二十二日には服飾文化専攻による「小・中学生のための服飾講座 TSBファッションカレッジ二〇一七」

が開催されました。今回のテーマは「藍染めにチャレンジ」で、参加した十名の小学生がオリジナルバンダナづくりに挑戦しました。

学生の受賞も目立ち、「日本家政学会東北・北海道支部第六十一回研究発表会」では、服飾文化専攻四年生の前澤咲希さんの発表が「学生奨励賞」を受賞しました。また、福島相双オールファッションチャレンジ主催のファッションデザイン画コンテストで、服飾文化専攻四年生の金子野里穂さんが優秀賞を受賞しました。

管理栄養士国家試験は今年度から時期が早まり三月四日に実施されます。受験する健康栄養学専攻四年生の健闘を願うばかりです。

最後に、三月三十一日付で伊澤華子准教授、小野寺美和講師、南城絵美助手が退職されます。ご退職の方々本学の教育研究活動へのご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



▲いい日いい汗栄養まつり

大学生生活美術学科

短信



平成二十九年度後半の活動は、美術鑑賞旅行(二年次)、博物館実習旅行(三年次)、大衡村ふるさと美術館との企画イベント、大学祭、学科内コンクール(最優秀賞は一年吉田瀬七さん)。

四年間の集大成となる卒業制作展は、例年通り盛大にメディアアートを会場に行われ様々な技法で制作された新鮮な感覚の作品は、多くの来場者に感動を与えました。

担任二人制で学生を支援しております。教員も美術家として社会で活動し、学生の先輩とも言えますので、就職や学生生活でご心配な点があればいつでもご相談ください。

学生の活動の一端を紹介します。
七月、ギャラリーエチゴで「版画ゼミ屋さんで恋しちゃう?展」。

ギャラリーターニアラウンド
企画三年次伊藤陽太さん、我妻優香さんによる「伊藤と我妻展」。

中本誠司現代美術館企画
三年次千葉達仁さん、佐藤雛乃さんによる「二人展」。

八月、大衡村との地域連携
による「東北生活文化大学×



▲卒業制作展

大衡村ふるさと美術館企画展「ホーンテッドミュージアム」が開催。学生による体験型アート(竹の遊具、紐のインスタレーション、お化けのプロジェクト、おマッピング)と教員展



▲ホーンテッドミュージアム with TSB

北生活文化大学生活美術学科教員展」

ギャラリートーンアラウンド企画「駮輪」四年次中村望乃さん、石川愛さんの二人展。

九月、宮城県芸術協会公募展彫刻部門で二年川角奈々さん、穂積雄介さんが入選。

十一月、「泉区民文化祭」参加。コンクール作品展示、プロジェクトマッピング、ワークショップ他。

十二月、三年高橋しずくさん、佐々木千種さんによる「どったんぱたん展」中本誠司現代美術館。晩翠画廊企画「呀展」二年次織田島三四郎さん、菊池泉里さん、四年

鈴木美緒さん、二年田端佳菜子さん、三年千葉達仁さん、一年穂積雄介さん、吉田瀬七さん。

一月、合同ゼミナール展(壁画、絵画、デザインゼミの合同展)。

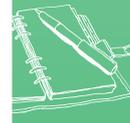
二月、版画ゼミナール展が東北電力グリーンプラザ。三月、陶芸ゼミナール展せんだいメディアテーク。

また本年度も地域連携事業で学生・教員が活躍。全国、地域イベントに参加しました。二十八年三月卒業の

相澤郁恵さんのビッグコミック増刊号に連載中の漫画『モデリアーニ』に『お願い』が単行本として八月に二巻目が発売。その他教員、卒業生の発表活動も充実し、大いに在学生の刺激になっています。

短大生活文化学科

短信



今年度も短期大学部は、学生たちがそれぞれ自分の目標に向かって努力し、無事に過ごすことができた二年間だったと思います。後期の主な行事を振り返ってみたいと思います。

学科の行事

○十月二十一日・二十二日 大学祭

食物栄養学専攻は二年生が虹の丘食堂、二年生がT S Bオリジナルスイーツ作成・販売、子ども生活専攻はファンタジーランド創作・演技発表を行いました。

食物栄養学専攻



▲虹の丘食堂

○八月〜十月 栄養士基礎演習(一年生)

○六月〜十二月 給食管理実習Ⅲ(校外実習)(二年生)

保育所、陸上自衛隊駐屯地、特別養護老人ホーム、小学校(前期六月)に分かれて、五日間の校外実習が行われました。

○二月一日 校外実習報告会(二・二年生)

子ども生活専攻

○十月 幼稚園実習(二年生)

○九月〜二月 保育所基礎

実習・幼稚園基礎実習・施設見学実習・子ども園見学実習(二年生)

○二月二十一日・二十三日 附

属ますみ幼稚園の園児を招いての活動(運動遊び)を行いました。短大と附属幼稚園が連携して、双方にとって有意義な教育活動を行っています。



▲ファンタジーランド

地域貢献活動

○二月一日 幼稚園教育実習報告会、保育実践報告会(二・二年生)

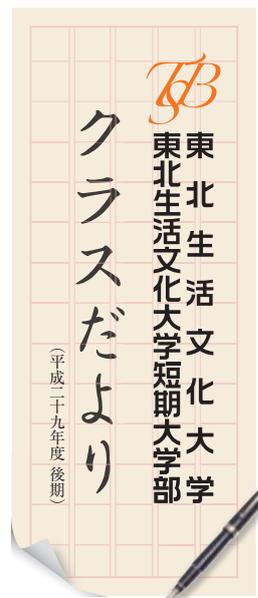
地域への貢献も本学の使命の一つです。後期に学生ボランティアが参加したものを二部をご紹介します。

○十月七日 虹の丘児童センター「親子で中華まんを作ろう」(食物栄養学専攻)

○二月十九日 ますみ幼稚園そり遊びボランティア(子ども生活専攻)

三月七日 のびのびクラブ(子ども生活専攻)

なお、三月三十一日付で齋藤紀行教授、安部日珠沙講師、松本有紀子助手、乗田ふみ助手が退職されます。これまで短大の教育に尽力していただいたことに感謝いたします。



大学服飾文化専攻 1年

大学に入学して二年が過ぎ、学年が二つの区切りを迎えようとしております。この二年間、皆さんが取り組んできたことや、経験したことを振り返りましょう。今年度は、授業を頻繁に欠席する学生や、課題等の取組みに対して能動的に動くことのできない学生が多く、少々心配しております。ここは大学です。受動的な学習から卒業して頂きたいと願います。従いまして、各自、春休み期間は学習や生活面の見直しをして頂きたいと強く願っています。同時に、心身を二休みさせ、今後の成長や飛躍に向けて盤石な土台の構築に努めて下さい。

大学服飾文化専攻 2年

二年の後半には日々の大学内での授業に加え、学外研修も実施しました。九月十二日～十五日には東京都内の染色加工・パレル品質管理・CADの服飾関連企業等で家政特別講義Ⅱ「研修旅行」を実施いたしました。研修にあたりご支援ご協力頂きましてありがとうございます。また、二月八日には産学連携協議会加盟の企業様にご協力頂き、ホテルのブライダル室にて婚礼スタイル、婚衣装等の研修を行い、着装体験もいたしました。これからも様々な研修や活動に取り組み、視野と可能性を広げてもらいたいと思います。

大学服飾文化専攻 3年

気が付きますと就職活動戦線が動き始める時期になりました。さらには、三年生後期から始まった課題研究Ⅰに学生たちは

一生懸命取り組んでおります。この課題研究は大学の様々な講義・実習の集大成ともいえる教科で、来年度の課題研究Ⅱにつなげ、各個人の専門知識を飛躍的に高めるため教員一同も学生たち同様、現在全力で取り組んでおります。就職活動に関しては、これも課題研究Ⅰ同様、三年次後期からキャリア開発Ⅳで、履歴書の書き方や面接のシミュレーション、さらにはブレインストーミングと☑法を組み合わせたグループ学習をおし各個人の意識を高めています。早いもので、大学生生活も最終学年を目前にひかえております。ここからは、日々個々人の学生たちとのかわりをおそれ、これまでに密に行きたいと考えております。

大学服飾文化専攻 4年

大学生生活最後の学期もまもなく終了しようとしています。多くの学生は就職活動を終え、後期の履修単位も順調に取得し、次のステップへ向けての準備に入っています。十二月九日に、課題研究Ⅱの履修者は研究成果を発表しました。充実した発表会となり、学生の成長を拝見し大変嬉しく思いました。課題を見つけて解決する力は、現代を生きる私達にとって不可欠な能力です。課題研究で培ったその力を活かして下さい。

大学内での講義・実習・実習や、学外での実習・研修、大学祭やファッションショーなど、本学で学び様々な活動をやり遂げたことを自信にかえて「飛躍」されることを願っています。

大学健康栄養学専攻 1年

早いもので、四月に入学してから二年が過ぎようとしています。昨年は夏休みの課題でクラス全員が野菜料理レシピコンテストに応募しました。また、チーフフェスタ「チーフグランプリ」に応募した人もいます。「チーフグランプリ」では横山春菜さんの「カブレーゼ」山形のだし」が地域選抜賞に入賞しました。(選ばれた作品は、チーフフェスタホームページ内で発表されています。)大学祭では、クラスの大抵の学生がボランティアスタッフとして準備から後片付けまで関わりました。四月には先輩としてウェルカムパーティーを主催し新入生を迎えます。また、いよいよ専門科目が中心の履修となります。ご家庭でもより一層ご支援いただきますようお願いいたします。

大学健康栄養学専攻 2年

二年生の後期では様々な実践的な栄養学を学びます。そのうち家政特別講義Ⅱでは見学研修に行ってきました。今年のテーマは「管理栄養士の卵だからこそ今こそ知っておきたい場所」とし、県内三か所を巡りました(女川魚市場、あがいんステーション、仙台市農産園芸センター)。これは宮城県庁健康推進課の特別協力により実現した企画です。普段では見ることのない宮城県の最新の食の部分(農業と水産業)を学びました。学生は目を輝かせていました。様々な経験を生かし、三年生になっても頑張ってもらいたいと思います。

大学健康栄養学専攻 3年

三年生は栄養士・管理栄養士の仕事を実際に学ぶ臨地実習において貴重な体験を積みましました。実際の業務に携わることで仕事への理解が深まり社会性やコミュニケーション能力の大切さを学びました。栄養士実力認定試験の受験も経験し、課題研究では配属先も決定しそれぞれの分野の研究を行っています。宮城県栄養士会主催の栄養まつりでは多くの学生が意欲的に参加し地域住民の方と触れ合う良い機会に恵まれました。四年生では学業に加え、就職活動も加わり忙しい日々になりますが、ご家庭においてもサポートして頂きながら、健康面にも注意し一層飛躍してほしいと願っています。

大学健康栄養学専攻 4年

大学生生活も残り僅かとなりました。就職希望者の内定率は、二月現在で百分となり、そのうち給食施設での勤務者が二十二人と全体の五十四%となっています。また、管理栄養士国家試験受験者は、強化クラスを通して模擬試験の結果も徐々に伸びています。合格に向けて最後までひたむきに勉強に励んでほしいと思います。今年はいんフルエンザの流行り年です。体調管理には十分注意し、卒業を迎えてほしいと思います。今後共に、めげず、挫けず、諦めず、希望をもつて邁進してほしいと願っています。

大学生生活美術学科 1年

一年次は、入学当初の慣れない環境にも柔軟に対応できるようになり、後期に入ると個々の発揮する場面が多く見られるようになってまいりました。授業以外でもボランティアやサークル、ゼミ活動に始まり、他学科とのイベント等に積極的に企画・運営にも携わるなど、頼もしい限りです。学科内コンクールにおきましては、最優秀賞を二年次が受賞し、学外の一般公募展でも入選、入賞いたしました。

新たな一面を発見できる大切な時期であると同時に、一年次で学んだ様々な経験を土台にして専門的な方向を決定していく時期でもあります。保護者の皆様の応援をよろしく願っています。

大学生生活美術学科 2年

担任として、生活美術学科二年生の単位取得状況が気になつて眠れません。その心配の度合いは卒業の時より上かもしれませぬ。それは、卒業時の単位不足については五年目の前期のみで充足可能なケースが多々あるのですが(トータル四年半)、三年次への進級が認められない場合には、これから卒業までに少なくとも三年を要することが決まってしまうからかもしれません。二月十九日に各教科の成績が出揃うことになっています。オリンピックの予選通過ラインを耳にするたびに、「62」という数値が脳裏をよぎる今日この頃です。

大学生生活美術学科 3年

十月に「生活美術学科内コンクール」が開催されました。この学年は、比較的多くの者が受賞を果たしたようです。すでに新棟建設が始まっています。特に三年アトリエでは、不便をかけたのではないのでしょうか。一月になり、卒業研究の申告書の提出をしてもいいと思います。

新年度からは、資格取得、就職活動、卒業研究と、同時に多くのことをこなして行きます。まずは、これらに向けて大学で行われる就職のためのガイダンスや、相談、面接等の機会を逃さず、上手く利用してください。

健康面に気をつけて、直面する課題をひとつずつ解決し、難局を元氣いっぱい乗り切ってください。

大学生生活美術学科 4年

大学四年間の学修の集大成とも言うべき卒業研究の提出を受け、第五十回生活美術学科卒業制作展を、せんだいメディアテーク五階ギャラリーで、二月九日～十四日まで開催いたしました。その記念すべき展示に際し、学生主体で卒業制作記録作品集や、共通のテーマで合同作品の制作など、新たな試みに挑戦しました。本学のディプロマポリシーに謳われている「地域の暮らしをデザインする力」を生かして、他と協働し主体的に活動をしたことで、大きな節目の年の展覧会を成功裏のうちに終了させることが出来ました。

そして、卒業後においては、社会にとって有意な人材として活躍することを念願しております。

短大食物栄養学専攻 1年

栄養士免許取得を志し入学してから一年が過ぎようとしています。目標に向かってクラス全体で多忙なカリキュラムをこなしています。学習の進捗状況をチェックしながら取り組んでいる姿は、距離の近い関係を築きやすい少人数教育の特徴かと思っております。

先日、本専攻の学びの集大成ともいえる卒業学年の報告会を聴講し、今後の課題意識が具体的に変わったようです。新学期を迎えると校外実習や就職活動など、益々現実味を帯びた生活が待っています。それに向けて、学年末休暇は、教科の復習はもとより、社会人としての基本的な態度を意識して送って欲しいと思います。

短大食物栄養学専攻 2年

十月の大学祭祭食物栄養学二年有志企画「虹の丘食堂」では、二種類の定食を提供し、多くの方々へ召し上がっていただきました。実習に就活にと慌ただしい中ではありましたが、企画から運営まで全て自分たちで行い、実践を積み良い経験になったよう

です。

六月から行っていた二週間の校外実習が十一月で無事に終了し、十二月には栄養士実力認定試験、二月には校外実習報告会を実施いたしました。春からは社会人として巣立っていく者、進学する者と各々ですが、短大で学んだことを活かして、更なる活躍をしてくれるものと期待しております。

短大子ども生活専攻 1年

一年次後期は、短大の大きなイベントである大学祭でのファンタジーランドの準備で慌しく始まりました。皆で協力して、劇や裝飾、遊びのコーナーを作り上げ、当日は地域の子どもたちが集まり大盛況でした。学生も充実感・達成感を味わい、仲間と力を合わせることの喜びを感じていたようです。大変貴重な経験となりました。

また、子ども園、障害児入所施設への見学実習、附属のますみ幼稚園・保育園での基礎実習が行われました。その他に幼稚園の子どもたちとの運動遊び、様々なボランティア活動にも参加し、子どもたちと関わる機会が多くありました。

来年度はいよいよ本実習です。日々多忙な生活の中で思いやりの心を忘れず、お互い励まし合い、助け合いながら力強く乗り切ってもらいたいと思います。

短大子ども生活専攻 2年

子ども生活専攻二年生は、後期に入つてすぐの十月初めから四週間にわたる幼稚園教育実習を経験しました。保育現場でしか学べない多くのことを日々習得しながら、保育者の卵たちは大きく成長したように感じます。学校に戻ってきた学生たちの顔は、自信に溢れているように見受けられました。その後、息つく暇もなく、授業に就職活動にと多忙な短大生活を送っていました。次々と就職が決まり、四月には社会人として巣立っていくこととなりました。今まで学んだことを大切にして、ぜひ、力強い一歩を踏み出せるように心から願っております。



ワクワクふるじえくと

— 地域連携活動 —



「ワクワクふるじえくと」とは、各学科専攻の学生と教員がタッグを組み、専門分野を生かして“まちに住む人がワクワクできるような地域連携活動”です。

食育フェスティバル in 仙台



せんだいメディアテークにおいて開催され、健康栄養学専攻の学生が「米粉を使ったおやつ作り」でブース参加し、米粉の良さをアピールしてきました。

食物アレルギー対応のランチパーティー



虹の丘児童センターの小学生とその保護者を対象に、アレルギーの原因食材を使用しないバースデーランチパーティーを実施しました。

大学生の食育プロジェクト「塩エコで野菜をとろう!」



仙台市の「大学生による食育プロジェクト」の一環として、泉区保健福祉センター家庭健康課との食育プロジェクト「塩エコで野菜をとろう!」を大学祭で実施しました。

第14回いい日いい汗栄養まつり



今年も公益社団法人宮城県栄養士会主催の「第14回いい日いい汗栄養まつり〜100歳まで食べる食事は100000食!?〜」が開催され、健康栄養学専攻の学生が、ボランティアスタッフとして参加しました。

親子料理教室 2017



食物栄養学専攻が、今年も虹の丘児童センターから親子20組をお招きし、「親子料理教室〜親子で中華まんを作ろう〜」を開催しました

手漉き和紙プロジェクト2017



生活美術学科版画ゼミナールは、今年も手漉き和紙工房「潮紙」代表塚原英男さんとコラボし、生活の中で「使われる和紙」をテーマに、手漉き和紙カレンダー2018を制作しました。

親子陶芸教室 in 中野栄児童館



中野栄児童館子育て支援クラブとの共催で、「親子陶芸教室」を開催しました。小さい参加者でしたが、みんな粘土に触れることが気持ち良かったのか、最後まで集中して一生懸命制作に取り組みました。

GAMA ROCK FES 2017



塩竈市みなと公園において、今回で6回目を迎えたGAMA ROCK FESが開催され、服飾文化専攻+生活美術学科の「反射糸、蓄光糸などの光る素材で、オリジナルミサガを作ろう」ワークショップを実施しました。

健康づくりハッピーデー in いずみ vol.5



泉区保健福祉センターによる「健康づくりハッピーデー in いずみ vol.5」が開催され、健康栄養学専攻の学生たちがボランティアで参加してきました。

のびのびくらぶ 短大のお兄さんお姉さんと遊ぼう



親子の遊びの実践の場「三島学園子育て・家庭支援センター」のプログラムにおいて、「紙皿ラケット作り」「手遊び」「ペープサート(紙人形劇)」などを企画し、子どもたちに楽しんでもらいました。

ワクワクポンポンシャボン玉



七北田公園において開催された「第37回泉区民ふるさとまつり」に、版画ゼミナールが「ワクワクポンポンシャボン玉」ワークショップを実施しました。

消しゴムはんこ トートバッグ2017



「泉中央まつり〜いずみちゅう祭」において、版画ゼミナールが、恒例の「消しゴムはんこ体験」のワークショップを開催しました。

「ワクワクふるじえくと」は、webサイトならびにFacebookページで最新情報をご覧いただけます。

ワクワクふるじえくとweb → <http://www.mishima.ac.jp/info/wakuwaku/>

本学Facebook → <https://www.facebook.com/mishima.tsb>

プロジェクションマッピング

平成二十九年年度より、授業プログラムに情報デザイン分野のひとつであるプロジェクションマッピングを導入しました。プロジェクションマッピングとは、映像やCGを用いて「特殊な視覚効果を生み出す映像表現の技法です。

二〇一七年九月大衡村ふるさと美術館にて、デザイン専攻の有志の学生によるアトで納涼をテーマとした作品「お化けのプロジェクションマッピング」を発表、上映し、同年十一月泉区民文化祭では、情報デザイン研究室三年生の伊藤陽太さんと佐藤雛乃さんが、誰もが知っている名画の登場人物をモチーフにした作品「アーティストファイター」を制作し、イズミティ21の壁面を使って発表、上映しました。

仙台ではまだ見ることが稀なプロジェクションマッピングですが、多くの方々にご覧頂き、楽しんでいただくことができました。本学生のクリエイターとしての表現と活動の幅を広げ、映像メディア教育向上の一助として、次年度も積極果敢に取り組みしていきたいと考えております。



小野恬先生より日本画作品四点を寄贈

今年一月に、日本画家の小野恬先生より作品四点を寄贈いただきました。

小野恬先生は、昭和九年、仙台市出身。昭和四十年から四十六年まで本学生生活美術学科専任教員として、「絵画美術理論」を担当され、昭和四十七年から平成十二年まで長きにわたり、非常勤講師として「日本画」を担当していただきました。

作品は、「平泉 想(昭和六十年制作/174cm×220cm)」、「献花(平成十二年制作/145cm×70cm)」、「路(制作年不明/F30号)」、「散華(制作年不明/P20号)」の四点。現在、うち三点を百周年記念棟会議室にて展示しています。

この作品たちは、平成二十七年に画集発刊記念として、せんだいメディアテークにおいて開催された「小野恬展」にも出品されました。



6号館完成

前号でもお知らせした新棟建設ですが、この春完成しました。新棟は地上三階建てでエレベーター完備、名称を6号館として、学生食堂売店などの厚生施設を大幅にリニューアルしました。また、新たにパウダールームやEco環境の整った学生ホールや作品展示スペース、さらに階段教室(講義室)などの機能を持った施設です。四月二日には、竣工式が行われ、新年度からいよいよ運用開始です。



事務職員紹介



入試課 五十嵐 崇人

入試課に所属しております五十嵐です。主な職務は、入学者選抜に係る連絡調整や電算処理に関する業務、統計資料の収集及び作成など入学者選抜に係る業務全般を担当しています。

また、業務の他に系列の高校バスケットボール部コーチとして、高校生への技術指導を行っています。

大学入試の多様化に伴い、入試業務も複雑化しておりますが、入学者選抜が受験生にとって本学への大切な第一歩であることを心がけ、業務に従事していきたいと思っております。

PHOTO ALBUM

(平成30年度前期)



公開講座「トントンゴゴゴ カーペンター!!」
平成29年度TSB小学生のための公開講座を開催しました。板や角材と小枝などの自然素材をノコギリで自由に切ったり、組み合わせたりして自分だけのオブジェを作りました。



みやぎ県民大学「大学開放講座」
9月2日(土)、9日(土)の2週にわたり、平成29年度みやぎ県民大学「大学開放講座」を開催。20代から80代の方まで幅広い年齢層の受講者に参加いただき、「食」に対する興味・意識の高さが窺えました。



TSB FES 2017～テーマ万福～
10月21日、22日、大学祭開催。お越しいただいた皆さん、ありがとうございました。また、準備から片付けまで奮闘してくれた大学祭実行委員会のメンバーたち、本当にお疲れ様でした。



藍染めにチャレンジ
10月22日(日)、大学祭と同時開催で、服飾文化専攻主催「小中学生のためのファッションカレッジ」を実施しました。今回は、「藍染めにチャレンジ」ということで、小学生10名が参加し、オリジナルハンダナづくり挑戦しました。



絵本の世界から～ぐりとぐらのおきやくさまのクリスマスケーキ～
12月1日(金)、三島学園子育て・家庭支援センター「のびのび」において、「絵本の世界から～ぐりとぐらのおきやくさまのクリスマスケーキ～」を実施しました。健康栄養学専攻の深澤講師が、絵本「ぐりとぐらのおきやくさま」に出てくるサンタが作るクリスマスケーキを再現し、参加者に召し上がっていただきました。



家政学科課題研究発表会
12月9日(土)、百周年記念ホールにて、「平成29年度家政学科課題研究発表会」が開催されました。今年度は、被服科学、衣生活研究、染色学、公衆栄養学、給食経営管理、食品学、栄養教育学、保健の分野から31グループ40名が調査・研究の成果を発表しました。



内定者就活相談会
1月25日(木)、キャリアサポート「内定者就活相談会」開催。卒業学年の就職内定者が就職活動体験談を先輩たちに伝えてくれる就職セミナーです。



だいた久商事学生食堂営業終了
だいた久商事さんは、三島学園が、1974年に、清水小路より虹の丘に移転した時から現在まで、40年以上に亘って、お世話になりました。



国試を受ける4年生へ向けたプチ壮行会
管理栄養士国家試験を受験する4年生をサポートする意味で、プチ壮行会を開催しました。六つの合格願(ケン担ぎ)が込められたTSB合格ラーメンを、みんなで食べて必勝を祈願しました。

就職支援センターから

◎準備はできていますか。3月1日から企業エントリー受付開始です。

平成30年3月卒業予定者の1月末現在の就職内定率は大学88.0%、短大89.2%であり、昨年同月比で大学が15.5%の増加、短大は0.9%の増加となっています。特に大学は高い内定状況となっています。背景には経済の好調等を背景とした企業の採用意欲が高いことにあり、引き続き、この状況が続くと予想されます。

平成31年度の企業の広報活動は3月からスタートします。それに合わせて、本学では本年度も大学3年生、短大1年生を対象にした東京就活バスツアーを企画、3月1日の東京幕張メッセで開催される企業合同説明会に参加します。参加者は年々増加し、今回は51名となりました。

3月1日から企業エントリー受付開始、6月1日から選考開始です。自己分析、業界・企業研究、履歴書・ES(エントリーシート)の書き方、SPI対策、面接対策、マナー対策などの準備は進んでいるでしょうか。これらは科目「キャリアサポートI・II」においてその指導を行なっています。あらためて、学習してきたことを振り返り就職活動に邁進してください。早く就職に向けた取組みを図ることが必要です。早過ぎるということはありません。

なお、就職活動の仕方、進路相談、求人情報の閲覧などに就職相談室を積極的に活用してください。就職相談室は百周年記念棟1階にあります。



このロゴマークは、本学の理念・目標を表現し、広く学内外にアピールするために、大学創立50周年を契機に作成し、平成22年4月1日に制定されました。東北生活文化大学・同短期大学の英語表記の頭文字「TSB」をモチーフにし、人を結び繋ぐことがイメージされています。「広報TSB」も、保護者と大学とを結び懸け橋となることを願って命名しました。

広報TSB 第12号

[発行] 平成30年(2018年) 3月1日

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1丁目18番地の2

TEL 022-272-7520 FAX 022-301-5602

ホームページ <http://www.mishima.ac.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/mishima.tsb>

Twitter https://twitter.com/mishima_tsb